

講演 1 患者との上手な接し方

— 臨床医必須のスキル —

日本で医療不信が指摘される一因として、医療者と患者さんとのコミュニケーション不足が挙げられます。不適切なインフォームド・コンセントがなされている現状を改善するためには、共同意思決定（SDM）の考え方に基づくより深い相互理解が求められます。本講演では、米国で医療者向けに作成されたコミュニケーションプロトコルであるSPIKESと、これを基に日本で作成されたSHAREの内容を紹介し、患者さんとの上手な接し方を考えてみたいと思います。

キーワード

インフォームド・コンセント（IC）、
Iメッセージ、SPIKES、SHARE、
EBM（科学的根拠に基づく医療）、
NBM（物語と対話に基づく医療）



かつまた のりゆき

勝俣 範之

日本医科大学武蔵小杉病院
腫瘍内科 教授

語句解説

講演 1

講演 2

講演 3

講演 4

講演を
終えて

最新
トピックス

徒然なる
ままに。